

業績ハイライト

－ 平成30年3月期決算について －



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 平成31年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	30年3月期	29年3月期	前期比	
			前期比	増減率
連結経常収益	42,666	44,132	△ 1,465	△ 3.3
経常利益	3,717	4,737	△ 1,020	△ 21.5
親会社株主に帰属する当期純利益	3,018	4,628	△ 1,610	△ 34.7

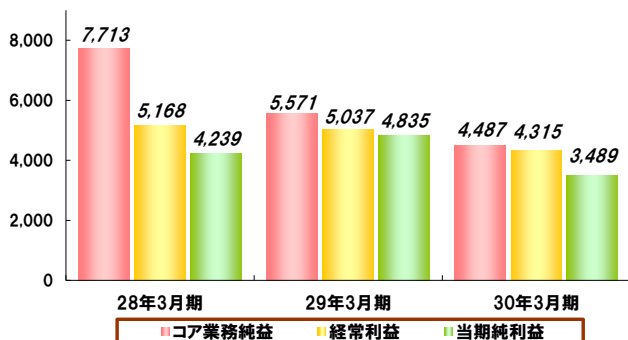
- じもとホールディングスの連結経常収益は426億66百万円、経常利益は37億17百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は30億18百万円となりました。

② 2行合算

(単位:百万円、%)

	30年3月期	29年3月期	前期比	
			前期比	増減率
経常収益	37,419	38,312	△ 892	△ 2.3
業務粗利益	29,669	31,184	△ 1,515	△ 4.8
資金利益	28,619	28,970	△ 350	△ 1.2
役務取引等利益	1,874	2,474	△ 600	△ 24.2
その他業務利益	△ 824	△ 260	△ 564	-
うち国債等債券損益	△ 807	△ 384	△ 423	110.2
経費(除く臨時処理分)	25,989	25,997	△ 8	△ 0.0
うち人件費	12,815	12,823	△ 7	△ 0.0
うち物件費	11,227	11,211	15	0.1
業務純益(一般貸倒繰入前)	3,679	5,186	△ 1,507	△ 29.0
コア業務純益	4,487	5,571	△ 1,083	△ 19.4
一般貸倒引当金繰入額	△ 119	-	△ 119	-
業務純益	3,799	5,186	△ 1,387	△ 26.7
臨時損益	515	△ 149	665	-
うち不良債権処理額	826	416	409	98.3
うち個別貸倒引当金繰入額	470	-	470	-
うち貸倒引当金戻入益	289	288	0	0.2
うち株式等関係損益	1,474	454	1,020	-
経常利益	4,315	5,037	△ 722	△ 14.3
特別損益	△ 299	△ 71	△ 227	-
当期純利益	3,489	4,835	△ 1,345	△ 27.8
与信関係費用	407	120	286	-

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比8億92百万円減少の374億19百万円(増減率△2.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益やその他業務利益が減少したことから、前年同期比10億83百万円減少の44億87百万円(増減率△19.4%)となりました。
- 経常利益は前年同期比7億22百万円減少の43億15百万円、当期純利益は法人税等の増加により前年同期比13億45百万円減少の34億89百万円となりました。

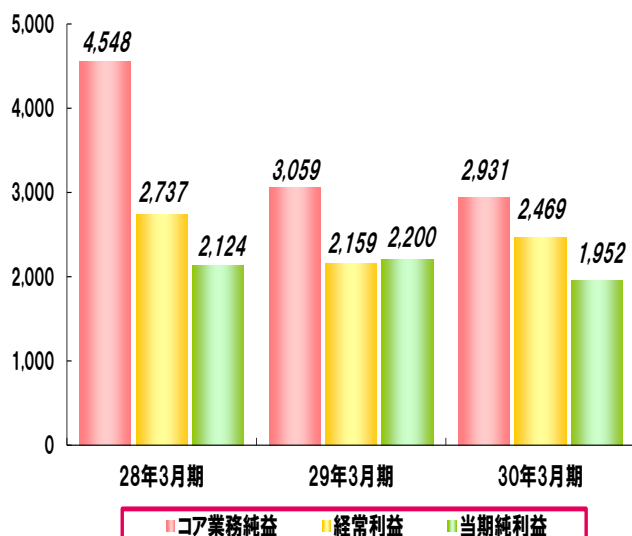
1. 損益の状況

③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	30年3月期	29年3月期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
経常収益	21,652	22,602	△ 950	△ 4.2
業務粗利益	17,570	18,128	△ 558	△ 3.0
資金利益	16,818	16,835	△ 16	0.0
役務取引等利益	1,337	1,537	△ 200	△ 13.0
その他業務利益	△ 585	△ 244	△ 341	-
うち国債等債券損益	△ 620	△ 366	△ 253	-
経費(除く臨時処理分)	15,258	15,435	△ 176	△ 1.1
うち人件費	7,648	7,833	△ 184	△ 2.3
うち物件費	6,551	6,496	55	0.8
業務純益(一般貸倒繰入前)	2,311	2,693	△ 381	△ 14.1
コア業務純益	2,931	3,059	△ 128	△ 4.1
①一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-
業務純益	2,311	2,693	△ 381	△ 14.1
臨時損益	158	△ 534	692	-
②うち不良債権処理額	206	338	△ 131	△ 38.9
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-	-
(貸倒償却引当費用①+②)	206	338	△ 131	△ 38.9
うち貸倒引当金戻入益	289	65	223	338.9
うち株式等関係損益	599	240	358	149.1
経常利益	2,469	2,159	310	14.3
特別損益	△ 174	△ 62	△ 112	-
当期純利益	1,952	2,200	△ 247	△ 11.2
与信関係費用	△ 88	272	△ 361	-

(単位:百万円)



- 経常収益は、貸出金利回りの低下により貸出金利息が減少したことから前年同期比9億50百万円減少の216億52百万円(増減率△4.2%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が前年同期比で1億76百万円減少したものの、役務取引等利益が減少したことなどから、前年同期比1億28百万円減少の29億31百万円(増減率△4.1%)となりました。
- 与信関係費用は、個別貸倒引当金の戻入などにより前年同期比3億61百万円減少の△88百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比3億10百万円増加の24億69百万円、当期純利益は前年同期比2億47百万円減少の19億52百万円となりました。

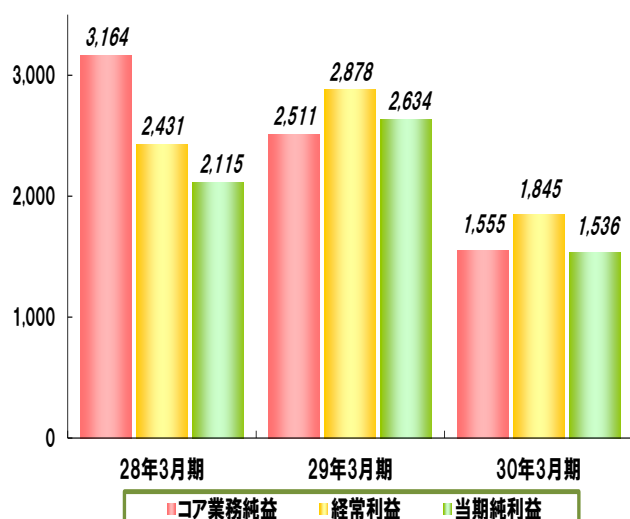
1. 損益の状況

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	30年3月期	29年3月期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
経常収益	15,766	15,709	57	0.3
業務粗利益	12,099	13,056	△ 956	△ 7.3
資金利益	11,800	12,134	△ 333	△ 2.7
役務取引等利益	537	936	△ 399	△ 42.6
その他業務利益	△ 238	△ 15	△ 222	-
うち国債等債券損益	△ 187	△ 17	△ 169	-
経費(除く臨時処理分)	10,731	10,562	168	1.5
うち人件費	5,166	4,989	176	3.5
うち物件費	4,675	4,715	△ 39	△ 0.8
業務純益(一般貸倒繰入前)	1,368	2,493	△ 1,125	△ 45.1
コア業務純益	1,555	2,511	△ 955	△ 38.0
①一般貸倒引当金繰入額	△ 119	-	△ 119	-
業務純益	1,488	2,493	△ 1,005	△ 40.3
臨時損益	357	384	△ 27	△ 7.0
②うち不良債権処理額	619	78	541	-
うち個別貸倒引当金繰入額	470	-	470	-
(貸倒償却引当費用①+②)	500	78	421	-
うち貸倒引当金戻入益	-	222	△ 222	-
うち株式等関係損益	875	214	661	-
経常利益	1,845	2,878	△ 1,032	△ 35.8
特別損益	△ 124	△ 9	△ 115	-
当期純利益	1,536	2,634	△ 1,097	△ 41.6
与信関係費用	495	△ 151	647	-

(単位:百万円)

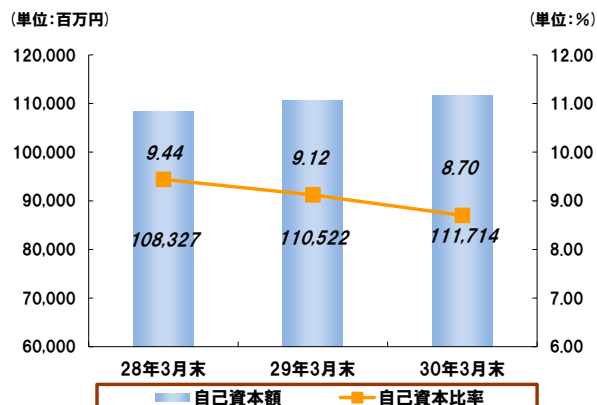


- 経常収益は、有価証券利息配当金や役務取引等収益が減少したものの、株式等売却益が増加したことから、前年同期比57百万円増加の157億66百万円(増減率0.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益の減少に加え、経費の増加などから、前年同期比9億55百万円減少の15億55百万円(増減率△38.0%)となりました。
- 与信関係費用は、一般・個別貸倒引当金繰入額の増加などから前年同期比6億47百万円増加の4億95百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比10億32百万円減少の18億45百万円、当期純利益は前年同期比10億97百万円減少の15億36百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移



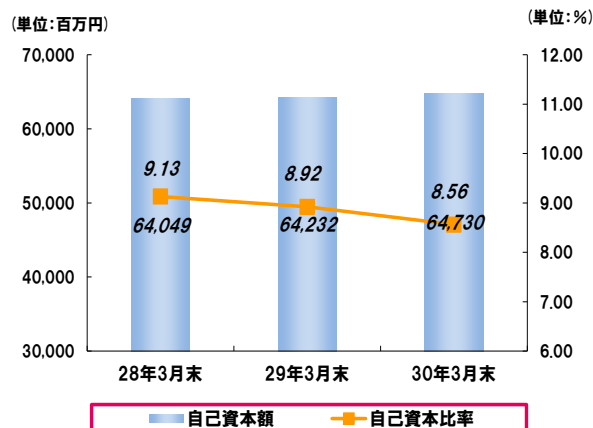
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.70%となりました。

(単位: %)

	28年 3月末	29年 3月末	30年 3月末	29年 3月末比	増減率
連結自己資本比率	9.44	9.12	8.70	△ 0.41	△ 4.59

② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



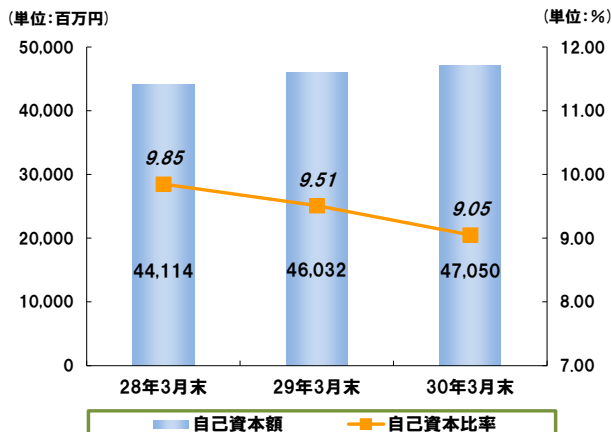
- 単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、29年3月末比0.36ポイント低下の8.56%となりました。

(単位: %)

	28年 3月末	29年 3月末	30年 3月末	29年 3月末比	増減率
自己資本比率[単体]	9.13	8.92	8.56	△ 0.36	△ 4.0
自己資本比率[連結]	9.16	8.86	8.46	△ 0.40	△ 4.5

③ 仙台銀行

自己資本比率の推移



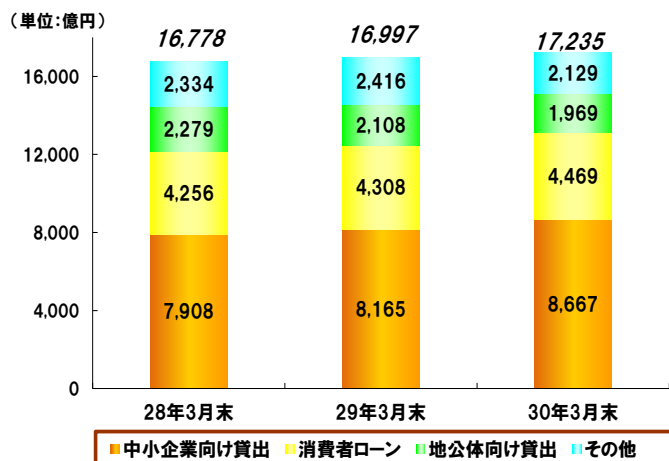
- 自己資本比率は、当期純利益を15億36百万円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、29年3月末比0.46ポイント低下の9.05%となりました。

(単位: %)

	28年 3月末	29年 3月末	30年 3月末	29年 3月末比	増減率
自己資本比率	9.85	9.51	9.05	△ 0.46	△ 4.87

3. 貸出金の状況

① 2行合算

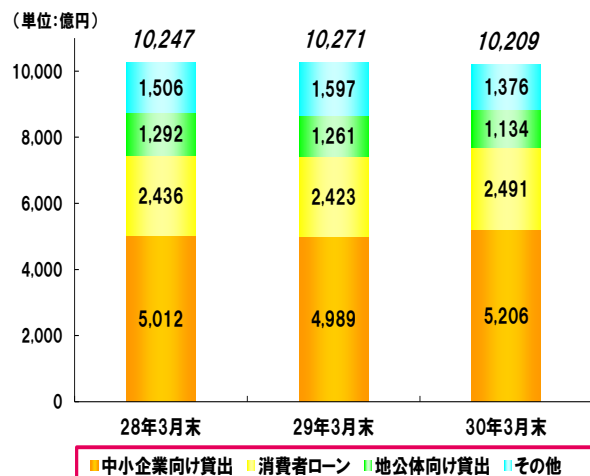


- 2行合算の貸出金残高は、29年3月末比237億84百万円増加の1兆7,235億39百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	30年3月末	29年3月末	29年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	1,723,539	1,699,754	23,784	1.3
うち中小企業向け貸出残高	866,715	816,526	50,188	6.1
うち消費者ローン	446,933	430,801	16,131	3.7
うち住宅ローン	403,160	386,333	16,827	4.3
うち地方公共団体向け貸出	196,927	210,824	△ 13,897	△ 6.5

② きらやか銀行



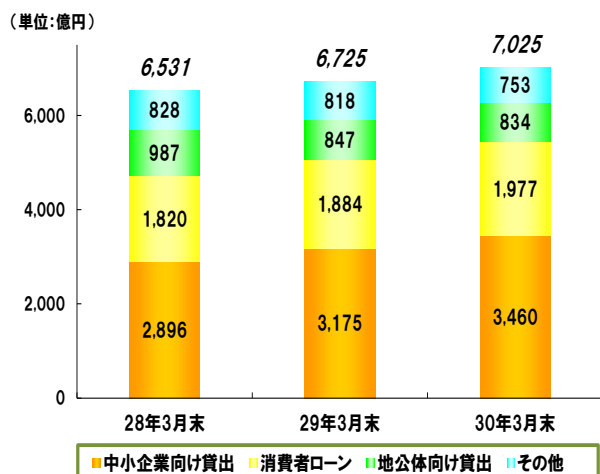
- 貸出金残高は、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したものの、地公体向け貸出や市場性ローンを政策的に減少させてきたことから、29年3月末比62億30百万円減少の1兆209億61百万円となりました。

- 中小企業向け貸出は、本業支援を着実に実施した結果、29年3月末比217億3百万円増加の5,206億85百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローンの増加により29年3月末比68億62百万円増加の2,491億77百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	30年3月末	29年3月末	29年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	1,020,961	1,027,192	△ 6,230	△ 0.6
うち中小企業向け貸出残高	520,685	498,982	21,703	4.3
うち消費者ローン	249,177	242,315	6,862	2.8
うち住宅ローン	231,180	222,902	8,278	3.7
うち地方公共団体向け貸出	113,477	126,121	△ 12,644	△ 10.0

③ 仙台銀行



- 貸出金残高は、29年3月末比300億15百万円増加の7,025億77百万円となりました。

- 中小企業向け貸出は、本業支援を通じてお客さまの資金需要へ積極的に対応したことから、29年3月末比284億85百万円増加の3,460億30百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン等の増加により、29年3月末比92億69百万円増加の1,977億56百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、29年3月末比12億53百万円減少の834億50百万円となりました。

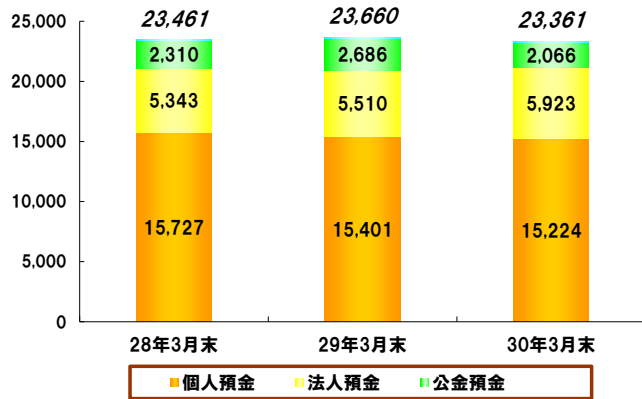
(単位:百万円、%)

	30年3月末	29年3月末	29年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	702,577	672,562	30,015	4.4
うち中小企業向け貸出残高	346,030	317,544	28,485	8.9
うち消費者ローン	197,756	188,486	9,269	4.9
うち住宅ローン	171,980	163,431	8,548	5.2
うち地方公共団体向け貸出	83,450	84,703	△ 1,253	△ 1.4

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

(単位:億円)



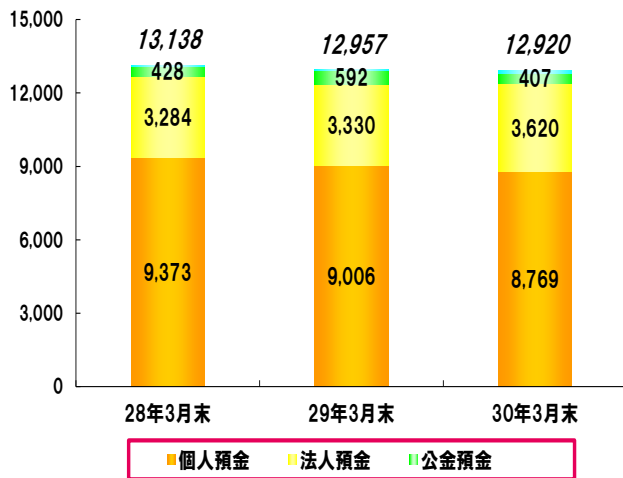
- 2行合算の預金残高は、29年3月末比298億60百万円減少の2兆3,361億75百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	30年3月末	29年3月末	29年3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,336,175	2,366,036	△ 29,860	△ 1.2
うち個人預金	1,522,406	1,540,145	△ 17,738	△ 1.1
うち法人預金	592,327	551,054	41,272	7.4
うち公金預金	206,645	268,671	△ 62,026	△ 23.0

② きらやか銀行

(単位:億円)



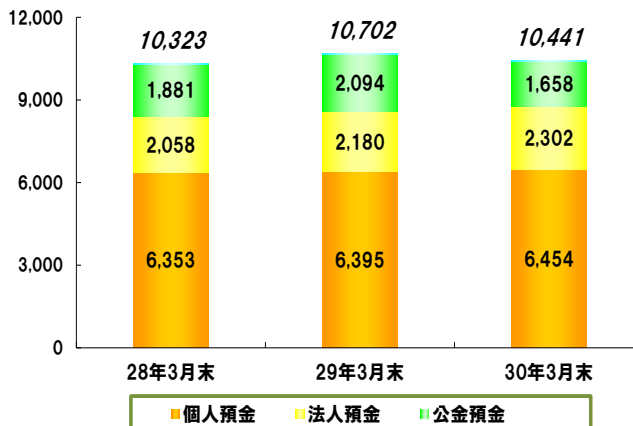
- 預金残高は、29年3月末比37億53百万円減少の1兆2,920億11百万円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したものの、高利回り商品を抑制し定期預金が減少したことなどにより、29年3月末比236億77百万円減少の8,769億23百万円となりました。
- 法人預金は、中小企業向け取引を積極的に実施した結果、流動性預金が増加したことなどにより、29年3月末比290億96百万円増加の3,620億96百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	30年3月末	29年3月末	29年3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,292,011	1,295,765	△ 3,753	△ 0.2
うち個人預金	876,923	900,600	△ 23,677	△ 2.6
うち法人預金	362,096	333,000	29,096	8.7
うち公金預金	40,796	59,228	△ 18,432	△ 31.1

③ 仙台銀行

(単位:億円)



- 預金残高は、29年3月末比261億7百万円減少の1兆441億63百万円となりました。
- 個人預金は、29年3月末比59億38百万円増加の6,454億83百万円となりました。
- 法人預金は、企業の手持資金の増加などにより、29年3月末比121億76百万円増加の2,302億30百万円となりました。
- 公金預金は、29年3月末比435億94百万円減少の1,658億48百万円となりました。

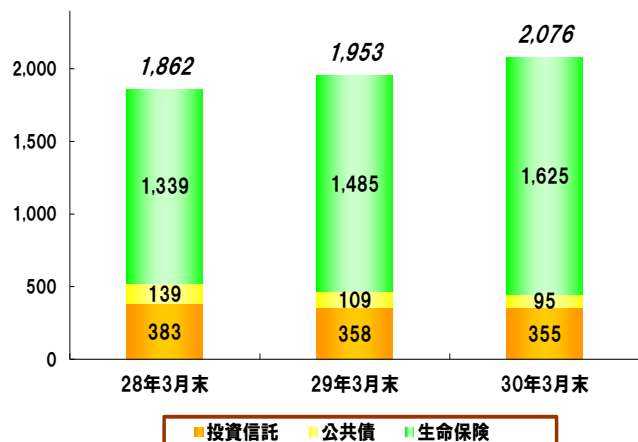
(単位:百万円、%)

	30年3月末	29年3月末	29年3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,044,163	1,070,271	△ 26,107	△ 2.4
うち個人預金	645,483	639,544	5,938	0.9
うち法人預金	230,230	218,053	12,176	5.5
うち公金預金	165,848	209,442	△ 43,594	△ 20.8

5. 預かり資産の状況

① 2行合算

(単位:億円)



- 2行合算の預かり資産残高は、29年3月末比122億60百万円増加の2,076億17百万円となりました。

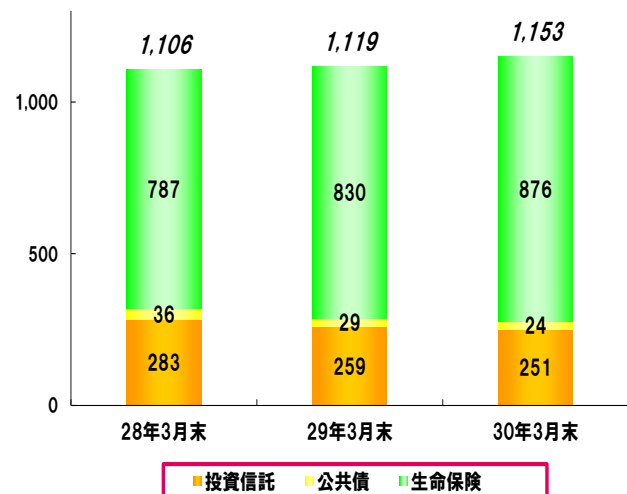
(単位:百万円、%)

	30年3月末	29年3月末	29年3月末比	増減率
預かり資産(末残)	207,617	195,357	12,260	6.2
うち投資信託	35,545	35,802	△ 256	△ 0.7
うち公共債(国債等)	9,550	10,986	△ 1,435	△ 13.0
うち生命保険	162,521	148,568	13,952	9.3

(注) 生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

② きらやか銀行

(単位:億円)



- 預かり資産残高は、29年3月末比33億82百万円増加の1,153億20百万円となりました。
- 投資信託は、29年3月末比7億51百万円減少の251億86百万円となりました。
- 公共債は、29年3月末比4億66百万円減少の24億62百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、29年3月末比46億円増加の876億70百万円となりました。

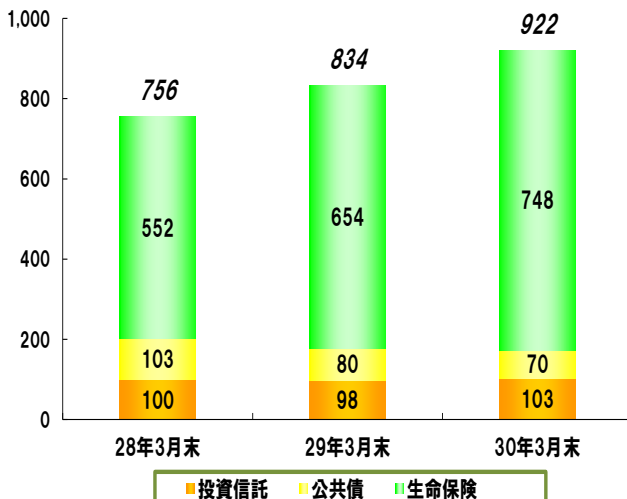
(単位:百万円、%)

	30年3月末	29年3月末	29年3月末比	増減率
預かり資産(末残)	115,320	111,938	3,382	3.0
うち投資信託	25,186	25,938	△ 751	△ 2.8
うち公共債(国債等)	2,462	2,929	△ 466	△ 15.9
うち生命保険	87,670	83,069	4,600	5.5

(注) 生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

③ 仙台銀行

(単位:億円)



- 預かり資産残高は、29年3月末比88億78百万円増加の922億97百万円となりました。
- 投資信託は、29年3月末比4億95百万円増加の103億59百万円となりました。
- 公共債は、29年3月末比9億68百万円減少の70億87百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、29年3月末比93億51百万円増加の748億50百万円となりました。

(単位:百万円、%)

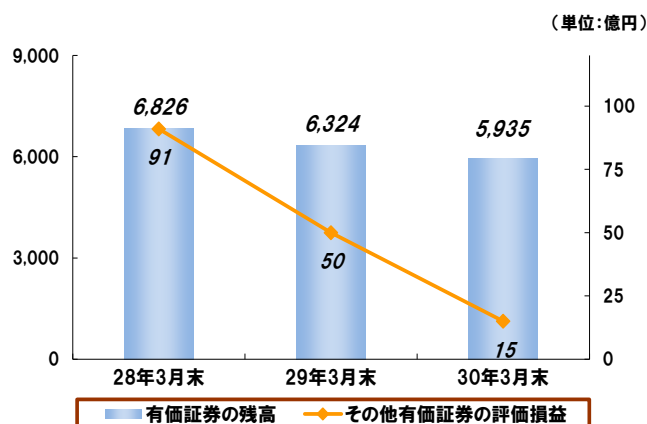
	30年3月末	29年3月末	29年3月末比	増減率
預かり資産(末残)	92,297	83,418	8,878	10.6
うち投資信託	10,359	9,863	495	5.0
うち公共債(国債等)	7,087	8,056	△ 968	△ 12.0
うち生命保険	74,850	65,498	9,351	14.2

(注) 生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、29年3月末比388億75百万円減少の5,935億30百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、29年3月末比34億92百万円減少し、15億21百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

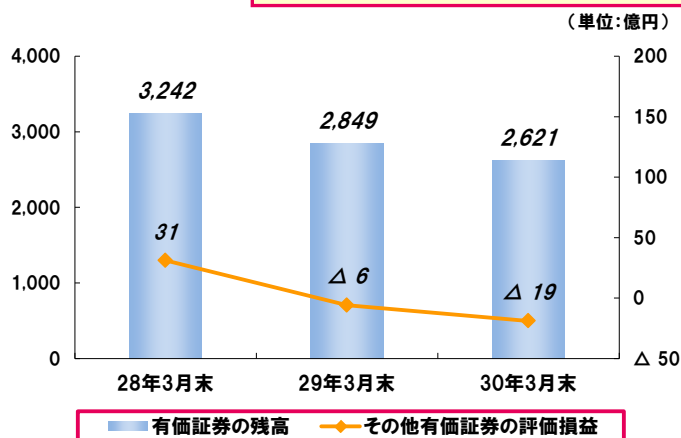
	30年3月末	29年3月末	29年3月末比	増減率
有価証券	593,530	632,406	△ 38,875	△ 6.1
国債	147,196	161,781	△ 14,585	△ 9.0
地方債	80,559	79,426	1,132	1.4
社債	185,231	202,263	△ 17,032	△ 8.4
株式	18,608	17,773	835	4.7
その他証券	161,935	171,160	△ 9,225	△ 5.3

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	30年3月末	29年3月末	29年3月末比
その他有価証券	1,521	5,014	△ 3,492
株式	2,854	3,519	△ 664
債券	3,580	4,972	△ 1,392
その他	△ 4,913	△ 3,477	△ 1,435

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、運用ポートフォリオの見直しを実施したことにより、29年3月末比228億50百万円減少の2,621億円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、株式や債券などの評価益が減少したことにより、29年3月末比12億39百万円減少し、19億32百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

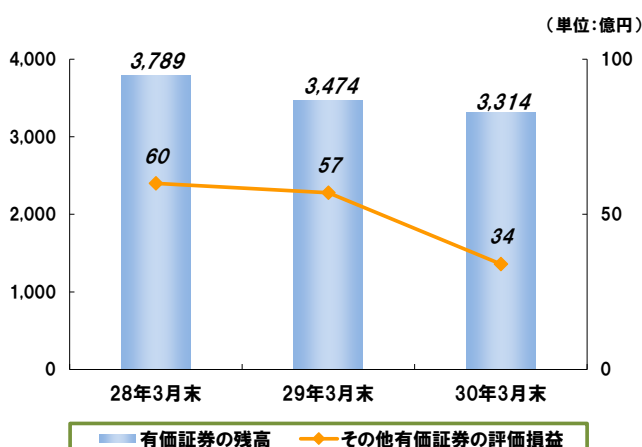
	30年3月末	29年3月末	29年3月末比	増減率
有価証券	262,100	284,950	△ 22,850	△ 8.0
国債	83,025	93,517	△ 10,492	△ 11.2
地方債	6,997	8,091	△ 1,093	△ 13.5
社債	53,429	53,292	137	0.2
株式	11,364	9,252	2,112	22.8
その他証券	107,282	120,796	△ 13,514	△ 11.1

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	30年3月末	29年3月末	29年3月末比
その他有価証券	△ 1,932	△ 692	△ 1,239
株式	610	1,040	△ 429
債券	846	967	△ 121
その他	△ 3,388	△ 2,700	△ 687

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向に留意しながら効率的な資金運用に努めたことから、29年3月末比160億25百万円減少の3,314億29百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、金融市場の変動の影響を受け、29年3月末比22億53百万円減少し、34億53百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

	30年3月末	29年3月末	29年3月末比	増減率
有価証券	331,429	347,455	△ 16,025	△ 4.6
国債	64,170	68,264	△ 4,093	△ 5.9
地方債	73,561	71,335	2,225	3.1
社債	131,801	148,971	△ 17,170	△ 11.5
株式	7,244	8,520	△ 1,276	△ 14.9
その他証券	54,652	50,364	4,288	8.5

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

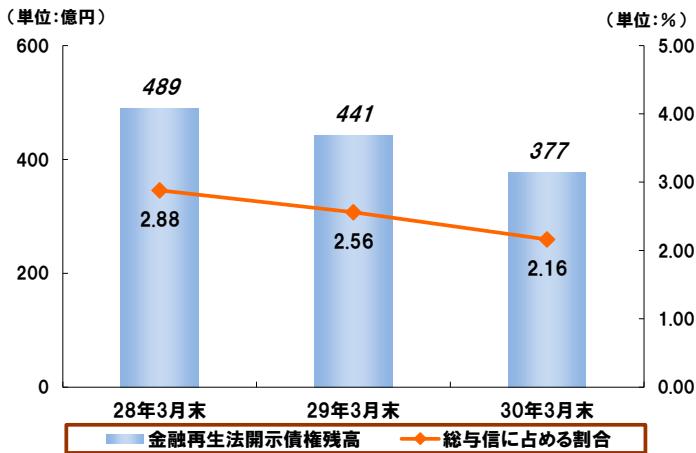
	30年3月末	29年3月末	29年3月末比
その他有価証券	3,453	5,706	△ 2,253
株式	2,244	2,479	△ 234
債券	2,734	4,004	△ 1,270
その他	△ 1,525	△ 777	△ 748

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、29年3月末比63億60百万円減少の377億99百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、29年3月末比0.40ポイント低下の2.16%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

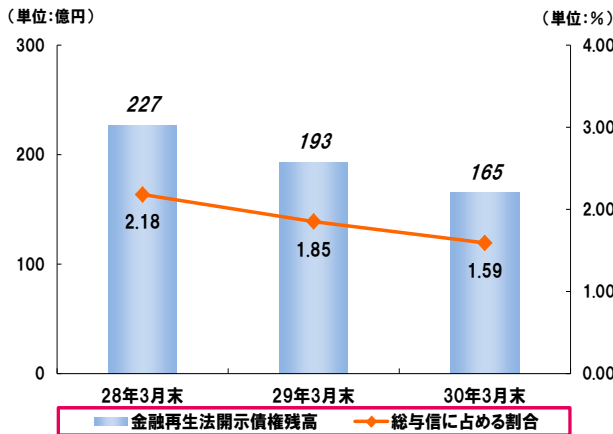
	30年3月末	29年3月末	29年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,744	4,730	13
危険債権	28,639	35,270	Δ 6,630
要管理債権	4,415	4,158	256
合計 (A)	37,799	44,159	Δ 6,360
正常債権	1,704,365	1,675,222	29,143
総与信額 (B)	1,742,165	1,719,382	22,783
(A / B)	2.16	2.56	Δ 0.40

②金融再生法開示債権の保全状況(30年3月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)	
		担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,744	4,744	2,454	2,290	100.00
危険債権	28,639	25,932	21,360	4,571	90.54
要管理債権	4,415	918	513	404	20.80
合計	37,799	31,595	24,328	7,266	83.58

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、継続的な経営改善支援を行った結果、29年3月末比28億26百万円減少の165億20百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、29年3月末比0.26ポイント低下の1.59%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

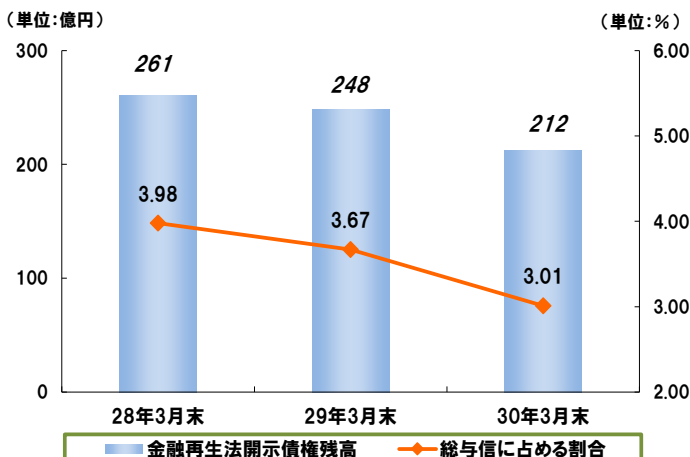
	30年3月末	29年3月末	29年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,342	3,186	156
危険債権	10,383	13,353	Δ 2,970
要管理債権	2,794	2,806	Δ 12
合計 (A)	16,520	19,347	Δ 2,826
正常債権	1,020,375	1,023,969	Δ 3,593
総与信額 (B)	1,036,896	1,043,316	Δ 6,420
(A / B)	1.59	1.85	Δ 0.26

②金融再生法開示債権の保全状況(30年3月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)	
		担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,342	3,342	1,569	1,772	100.00
危険債権	10,383	8,289	7,347	942	79.83
要管理債権	2,794	557	185	371	19.93
合計	16,520	12,189	9,102	3,086	73.78

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、リスク管理債権の回収等により、29年3月末比35億33百万円減少の212億78百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、29年3月末比0.66ポイント低下の3.01%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

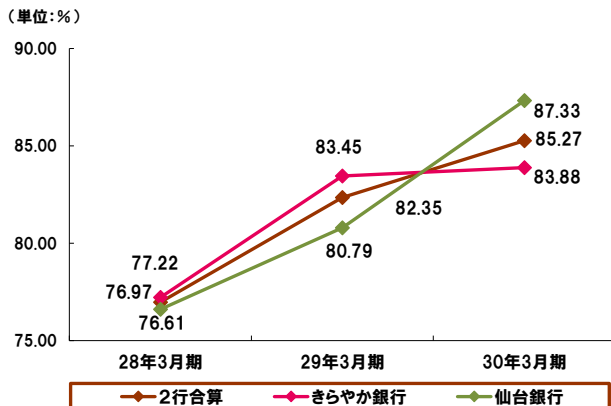
	30年3月末	29年3月末	29年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,401	1,544	Δ 142
危険債権	18,256	21,916	Δ 3,660
要管理債権	1,620	1,351	269
合計 (A)	21,278	24,812	Δ 3,533
正常債権	683,990	651,253	32,736
総与信額 (B)	705,268	676,065	29,203
(A / B)	3.01	3.67	Δ 0.66

②金融再生法開示債権の保全状況(30年3月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)	
		担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,401	1,401	884	517	100.00
危険債権	18,256	17,642	14,013	3,629	96.64
要管理債権	1,620	361	328	33	22.31
合計	21,278	19,406	15,226	4,180	91.19

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、29年3月末比2.92ポイント上昇し、85.27%となりました。



(単位:%)

		28年3月期	29年3月期	30年3月期	(単位:%)	
					28年3月期比	29年3月期比
コアOHR	2行合算	76.97	82.35	85.27	8.30	2.92
	きらやか銀行	77.22	83.45	83.88	6.66	0.43
	仙台銀行	76.61	80.79	87.33	10.72	6.54

9. 平成31年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの平成31年3月期の連結業績予想は、経常利益25億円、親会社株主に帰属する当期純利益21億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成30年3月期の1株あたりの期末配当金は、2円50銭を予定しております。また、平成31年3月期の年間配当金は、1株あたり5円を予定しております。

(単位:百万円)

	平成31年3月期	中間期	(参考) 平成30年3月期 実績
	経常利益	2,500	800
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,100	600	3,018

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
(参考)平成30年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益18億円、当期純利益16億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益8億円、当期純利益6億円を見込んでおります。

きらやか銀行

(単位:百万円)

	平成31年3月期	中間期	(参考) 平成30年3月期 実績
	経常利益	1,800	600
当期純利益	1,600	500	1,952

仙台銀行

(単位:百万円)

	平成31年3月期	中間期	(参考) 平成30年3月期 実績
	経常利益	800	300
当期純利益	600	200	1,536